

# 支部友会だより



日本山岳会東海支部

No. 101 April 1 2024

発行 公益社団法人日本山岳会東海支部  
支部友会

〒460-0014 名古屋市中区富士見町 8-8 OMC ビル

電話：052-332-8363 FAX：052-322-7924

印刷 (有) アジマプリント名古屋市北区中味鈍 2-438

## 「エンジョイ登山・エンジョイ人生」

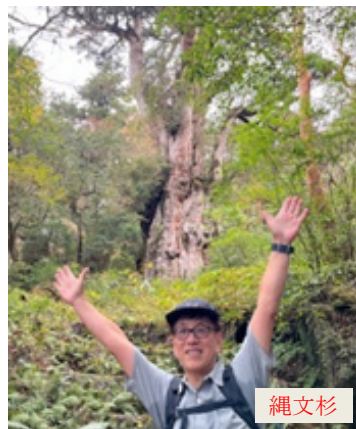


日光白根山

昨年は、充実した駆け足で通りすぎた 1 年でした。この機会に自分を振り返ってみると登った山の記憶があまり残っていないことに気が付きました。山は危険がともなうが自分にとって楽しいもののはず、今一度、原点復帰せねばと反省しました。

皆さん、山は楽しいが危険はつきもの。どんな山でもリスクはともないます。街を歩いても車を運転していても何らかのリスクがあります。ひとりでは対応できないリスクも仲間がいれば一緒に考え安全にクリアすることができるはず。しかし、自分の意見をはっきり言うことができないとそれはマイナスになってしまいます。ものがはっきり言える仲間は重要です。どの山に登るかも大切ですが誰と登ったかがとても重要なファクターであるとこの頃は特に思います。がむしゃらに山に登り、ピークハントをするのが目的ではなく、食事・文化・観光などに触れ、行動自体を楽しむことこそが本来の登山ではないでしょうか。

山も楽しいが他にも楽しいことがあります。充実した日常を過ごすために視野を広め、同じ趣味に生きる人たちとコミュニケーションをもち、お互いのスキルを高めあって行きましょう。その第一ステップが山と思っています。微力ながらそのお手伝いをできたらなと思っています。



縄文杉

(支部友会委員 川崎 禎明)

山行報告 令和5年12月  
令和6年1月～2月

12月10日(日)☆

山系:奥三河 山名:三ツ瀬明神山(1016m)

(往路):金山 7:00→新東名高速・新城 IC→尾籠登山口駐車場 9:00 (復路)駐車場 16:50→新城 IC→新東名高速→金山 19:30

コースと所要時間

尾籠登山口駐車場 9:15～岩山分岐 10:10～柿野北分岐 11:20～三ツ瀬明神山展望台 12:50/13:00～柿野北分岐 14:30～岩山分岐 15:30～尾籠登山口駐車場 16:30 歩行時間 6時間45分

参加者(3名) CL 近藤 政仁 会計:加藤 恵美  
報告:中野 徳子



(参加者の感想)

・尾籠から三ツ瀬明神山へはほぼ我々3人だけの貸し切りとなり、落ち葉を踏みしめ木漏れ日の中とても静かなルートでした。登山口に「熊注意」の看板がありました。静かなルートだけあって熊の行動は活発なようでありこちらで熊の糞らしきものを目撃しました。熊鈴は必需品とされます。鎖や梯子が続く胸突き八丁では、リーダーの「エライ、エライ」という言葉が埼玉県人の私には「偉い、偉い」と誉めて貰っているように聞こえました。黄砂で諦めていたのですが、山頂から思いがけず富士山や南アルプス、中央アルプスの山々の大展望が得られたのはご褒美だったのかもしれないと思っています。(中野 徳子)

・12月とは思えないほど暖かく良い天気にも恵まれた山行でした。厳しい山だとは思っていましたが予想以上で、梯子やロープはドキドキでしたし、「胸突き八丁」は本当に急勾配で息がきれました。山頂に辿り着くまでのアップダウンは本当にきつくて大変でした。下りは落ち葉が多かったため滑りやすくずっと注意が必要でした。(加藤 恵美)

<リーダーコメント>

三ツ瀬明神山は従来乳岩峽登山口から登っていたが、登山口手前に通行止めゲートと駐車場が設けられて片道約30分～1時間余分にかかり、今日は距離も累積標高差も短い尾籠登山口から登る。登山道には落ち葉が多く、木の根や岩での転倒や滑りに注

意しながら歩く。縦走路では小刻みなアップダウン、胸突き八丁の梯子とロープの越え方等の三点支持をトレーニングできた。メンバーで歩く時のスピード調整や道迷い防止などを体験してもらいました。

12月10日(土)☆

山域:鈴鹿 山名:竜ヶ岳(1,099m)

(往路)金山 6:55→東別院→大安IC→宇賀溪キャンプ駐車場 7:45 (復路)キャンプ場 15:00→六石温泉 15:15/16:00→大安IC→白川口→金山 17:30

コースと所要時間

キャンプ場 8:00～金山尾根入口 8:45～金山尾根展望台 10:20～竜ヶ岳山頂 11:20/11:55～遠足尾根分岐 12:20～遠足尾根入口 14:20～キャンプ場 14:45  
参加者(4名)

CL今津 英一朗 記録:五島 健一 会計:佐橋 章嘉 報告:杉浦 いずみ

(参加者の感想)

・2月に入り降雪の心配もしていましたが、道中は汗ばむほどの陽気でした。山頂はやや風は強いもののまずまずの視界。同行者の方と楽しく語りながら山行できました。(五島 健一)

・12月で少し雪は期待をしたのですが、まったくその気配もなく、12月とは思えない暖かい日となり歩くすぐに汗をかきました。途中風もほとんど無く広い山頂付近では風もありましたが、何とか昼食をとることができ気持ち良い山行となりました。最近の地元の方の登山道の整備のおかげもあり、山頂付近の山道はかなり歩きやすかったです。竜ヶ岳は3回目ですがリーダーの先導で4人のペースも合い、快適に登れた山行でした。(佐橋 章嘉)



・今回は、雪の可能性もあるという事で装備を万全にして臨みましたが、雪どころではない大変暑い快晴の日となりました。竜ヶ岳は初めてでしたが、こんなに綺麗な景色が見られるとは思わず感動的な山行となりました。鈴鹿セブンマウンテンの中でもダントツに良かったです。まず、竜ヶ岳に向かう道は、壮大な景色に囲まれてまるで映画の中にいるようで

した！そして、見たこともないような変わったコケや植物がたくさんあり、歩いていてとても楽しかったです。山頂はとても広くのびのびとした、心地よい場所でしたが、大変風が強く食事をするのも一苦労といった感じでした。日曜日のせいか山頂や付近は混雑しており、下山するときまた一苦労という感じでしたが、すれ違う登山者はみんな楽しそうに歩いていてお互い声を掛け合ったり情報を共有しあったり、さすがに楽しい登山でした。何よりリーダーをはじめ参加者のみなさんが楽しい方ばかりで笑ったり語ったり楽しい登山となりました。(杉浦 いずみ)



<リーダーコメント>

天候の変動大きく、事前に装備を悩みました。雪は結局降らず、積雪も有らずの状態となりました。また、頂上の風力も低く、丁度良い登山日和となりました。竜ヶ岳の登山道は近年整備され、大変歩きやすくなりました。コースタイムより少し遅めでしたが、下りが遅めであったことで、時間が掛かったと思っています。遠足根尾下部は、まだ登山道整備が届いていないため、慎重になりました。

.....

**2024年1月7日(日) ☆ 山城：愛岐丘陵**  
**山名：鳩吹山(314m) 大平山 (291m)**

(往路) 金山 8：45→名古屋高速小牧北 IC→41号名濃バイパス→真禅寺 9：20

(復路) 犬山駅西口 18：40→名古屋高速道→金山 19：30 解散

**コースと所要時間**

真禅寺登山口 9：30～鳩吹山 10：20～北回り分岐  
 東 11：00～西山休憩舎・昼食 11：30/11：50～大平山  
 ルート分岐 12：10～大平山 13：00～不老公園  
 13：50→マイクロバス→寂光院 14：00/15：00→  
 さらさくの湯 15：20 歩行時間 約3時間半

参加者 (24名) ドライバー：杉山雄彦

**統括 L：尾上昇 CL：田中進** アシスタント：  
 松本陽子 会計：奥野 明美 SL：川崎 禎明  
 石田 猛 今津 英一朗 熊谷 美喜子 島田 逸子  
 遠藤 忍 松尾 久美子 小幡 みさ子 勅使  
 河原 佳孝 木村 篤 岩田 和久 平井 まり  
 奥山 千佳 (支部友) 清水 ゆかり 佐藤 千景

佐藤 雅弘 山田 卓 山田 誠一 島川 桂子



(参加者の感想)

・今年も鳩吹山山行から始まりました。昨年同様のコースでしたがあまり息も切れることなく心拍 100 未満で安定していました。松本さん推奨の展望台から遠くに金華山や名古屋のタワー群を覗くことができました。身も心も清められたのに新年会でまた世間の垢に汚されるという顛末。でもコロナ禍で塞ぎ込んでいた気持ちも華やかな雰囲気に包まれた一日になりました。今年1年が皆様にとって素敵な山行となりますようお願いしています。(佐藤 千景)

・新年親睦会を兼ねた鳩吹山山行は雨天決行と聞いており、当日の天気が気になっていましたが、天候にも恵まれ、気持ち良い登山が楽しめました。特に大平山から不老滝へのルートでは、下山直前に犬山城や木曾川を見下ろす素晴らしい景色が広がり、南方向には遠く名駅ビル群も一望で、低山登山の魅力を実感できました。下山後は寂光院での法話、さらさくの湯での入浴、魚民での飲み会にて心身ともに浄化され、新たな年の良いスタートになりました。(山田 誠一)

・鳩吹山は冬からカタクリが咲く頃に何度か訪れた山でしたが、いつもソコか少人数でしか登った事がないのでピストンか周回コースしか歩いた事がありませんでした。鳩吹山～不老の滝まではとても新鮮で楽しい縦走でした。その後の寂光院も春と秋にいつも訪れる場所。でもご住職の説法は初めてでこれもまた新鮮！途中、眠気が襲いましたがこの後の新年会の事を考え眠気と戦いました(笑)でもその前に織田信長も眺めたであろう小牧城、犬山城、岐阜城の展望を楽しんでから温泉で汗を流し新年会へ。お料理とお酒で空腹を満たし後は空くじなしのくじ引きになると 2 等を獲得！今年は春から縁起がいいそんな楽しい山行でした。(清水 ゆかり)

<リーダーコメント>

真禪寺登山口から標高差 200m の整備された登山道は快適で 40 分で頂上に到着。雪を被った御岳山や遠く乗鞍岳などの眺望を期待しましたが、



あいにく雲の中でした。しかし眼下に可児の街並み木曾川の景色は見ごたえが有りました。西山休憩所で昼食、皆さん楽しい会話の中、大平山からの下山は犬山城と木曾川を眺めながら急な下り道を注意しゆっくり不老公園に全員到着しました。マイクロバスですぐに尾張最古刹、寂光院の法主松平實胤僧正法話で心を清めました。急な階段を上り本堂を参拝、展望台からは金華山岐阜城まで目の前に広がる景色、永禄 8 年 (1565) 織田信長公は参詣の折り当山を清州城の鬼門鎮護の靈刹としました。犬山健康館のさらさくらの湯は日曜日なのに空いていてゆったりと入浴し身を清めました。5時から犬山駅西口の魚民で新年、今年の抱負を自己紹介しながら述べ合い、最後はお年玉福引会を行い楽しい 1 時間半があつという間に過ぎ、金山に 7 時 30 分に到着。参加者の皆様からは毎年恒例で開催して欲しい要望が出ました。



1月8日(月祝) ☆☆

山域：焼津アルプス 山名：満観峰(470m)  
(往路) 金山市民会館南側 6:39→都市高速・東名→花沢の里観光駐車場 9:04  
(復路) 駐車場 14:47→サンライフ焼津(黒潮温泉) 15:10/16:09→ジャパレン今池店 18:19

コースと所要時間

花沢の里観光 P8:40～ 鞍掛峠 9:35～満観峰  
10:13/10:47～日本坂峠 11:45～花沢山 12:16  
/12:40～駐車場 13:47 所要時間 5 時間  
参加者 (4 名)

CL: 今津 英一朗 報告・写真: 島川 桂子  
会計: 加藤 恵美 記録: 芝山 美智子  
(参加者の感想)

・富士山が美しく見えるたくさんの山の中でも、私が 1 番気になるのは、満観峰です。今回は、天候にも恵まれ、行き的高速道路上からも登山中もずっと美しい富士山を眺めながらの山歩きができて、素晴らしい年の幕開けとなりました。年の始めから、能登半島地震や航空機事故などで大変な思いをされている方々がいらっしゃる中、こうして元気に山歩きができることに感謝の気持ちを忘れてはいけないと思っています。

(芝山 美智子)



・寒いだろうと思っていましたが、暖かく良い天気にも恵まれ、登山道も整備されていたので、わかりやすかったです。満願峰から花沢山への道はアップダウンがあり日本坂峠を過ぎたあたりからの急勾配はキツかった。満願峰からは、富士山の眺めが最高で、駿河湾も見渡すことができ、山と海に見とれてしまいました。(加藤 恵美)

・何だか心の痛む話題から始まった新年。楽しいおしゃべりをしながら白く美しい富士山や光る広大な駿河湾眺め心が緩んだような気がします。幸先の良い山行ができ感謝します。連日大変な思いをされている方々の報道を見てついいため息がでますが自分の為 人の為今私ができることを精一杯がんばろうと思います。(島川 桂子)

<リーダーコメント>

みなさまお疲れさまでした。事前の天気予報ではこの冬一番の寒気が降りる予報で、大分心配していました。あに図らんや、全くの好天、しかも風無し、気温高いのベスト条件でした。満観峰は優しい低山ですが、その後の花沢山を廻ることで、

少し登り甲斐のあるコース設定にしています。今回はみなさん、とても楽しめて頂いたようで、満足いただけたと思います。

私の中では、年初めの霊峰富士山は外せない行事になっています。また機会があれば一緒に下さい。.....

### 1月13日(土) ☆

山城：紀伊山地 山名：朝熊ヶ岳

(往路) 近鉄名古屋駅 7:11→伊勢中川駅 8:29→朝熊駅 9:19 (復路) 朝熊駅 15:07→五十鈴川駅→15:10→松坂駅 15:33→近鉄名古屋駅 17:10

#### ルートと所要時間

朝熊駅 9:20～であいの広場登山口 9:35～朝熊峠 11:25～朝熊ヶ岳頂上 11:47/12:20～奥の院 12:40～金剛證寺 12:50～朝熊峠 13:30～であいの広場 14:35～朝熊駅 15:00

歩行時間 4時間40分

参加者 (7名)

CL: 奥野 明美 記録: 島川 桂子 報告: 中野 徳子 黒石 真弓 五島 健一 写真: 佐橋 章嘉 椿 利枝子



(参加者の感想)

・初の電車山行だったので集合場所に間に合う様、早めに自宅を出発。2時間超の電車旅は新鮮でした。天候は完璧とは言えないものの、朝熊ヶ岳は歴史と雰囲気を持つ歩きごたえのある山でした。

(五島 健一)

・以前から一度訪れてみたかった、朝熊ヶ岳。朝熊駅から登山口まで10分と、アクセス抜群で、春ということもあり、沢山の登山客に出会いました。古道の雰囲気のある道を登り、途中の展望ポイントでは穏やかな広い海に浮かぶ島々を眺め、山頂へ。金剛寺は、古来から伊勢神宮の鬼門を守るにふさわしい堂々とした風格があり、巨大な樹木や卒塔婆が印象に残りました。山全体からパワーを感じ、とても清らかな気分になりました。

(黒石 真弓)

・千代の春 神域を守る 金剛證寺

(椿 利枝子)



#### <リーダーコメント>

朝熊ヶ岳金剛證寺は、伊勢神宮の鬼門を守る寺として「伊勢神宮の奥の院」とも呼ばれ、「お伊勢さん参らば朝熊をかけよ、朝熊かけねば片参り」と伊勢音頭に唄われたと言われているほど、伊勢神宮とともに参詣されています。今回は公共交通機関を使い、朝熊岳道を往復するコースを歩きました。途中一町(109m)ごとに道標を兼ねた町石とお地藏さんが現れ、道案内をしてくれました。伊勢志摩の観光パンフレットで紹介されている“天空のポスト”や“山頂展望足湯”までは足を延ばしませんでした。またの機会にお出かけください。ほぼコースタイム通りで、であいの広場に到着後雨が降り出し、いいタイミングで下山することができました。皆さんのご協力に感謝します。

### 1月21日(日) ☆

山城：袋井・掛川市 山名：小笠山 (265m)

(往路) 金山→東別院 IC→新東名高速→森掛川 IC→高天神城駐車場 10:00 (復路) 法多山駐車場 16:35→温泉 17:00/17:40→金山 20:00

#### コースと所要時間

高天神城駐車場 10:40～楞嚴寺山 12:00～高天神城跡 13:30～高天神城駐車場・昼食(13:30/13:45)～小笠山駐車場 14:00～小笠山 14:40～小笠山神社駐車場 15:30 歩行時間 4時間25分

参加者 (4名)

CL: 近藤 政仁 会計: 清水 ゆかり

記録: 竹本 美香 報告: 芝山 美智子



尾根の急登が多く、山頂にお城を築いた理由がよくわかり、同行されたみなさんの解説付きであまり歴史に詳しくない私でもとても楽しい山歩きでした。天気も回復して小笠山の山頂へ向かう途中では雲が少しずつ取れ、山頂の先の展望所では真っ青の中の富士山を見る事ができました。最後の締めめの法多山参拝と時間ギリギリの厄除け団子を食べる事ができて本当にみなさんのお陰です。

(清水 ゆかり)

・予報どうり雨模様リーダーの采配で計画を大きく変更し、歴史探索を兼ねたミニ登山、神社、寺院参り。名物グルメの団子を頬張り、最後は温泉。どれがメインなのかわからない、盛り沢山の山行でした。小雨の中も歩いた甲斐があり、雪をまとった絶景の富士山を見る事ができました。

(竹本 美香)

・雨でも晴れてくると信じて、山行決行。途中のPAで、作戦会議。まずは楞厳寺山から高天神城跡へ向かい、次に小笠山へ向かう。まずは小雨の降る中、二つのピークを押さえて、攻略成功。その後、当初の目的の小笠山を小笠山神社ルートで登頂。小笠神社や山頂からは、富士山の全容を美しく見る事ができて、大満足でした。

(芝山 美智子)



#### <リーダーコメント>

今回は1月早々に標高差1000mを歩く体力強化と富士山遠望で計画しましたが、登山当日は山行決定時より降雨時間が伸びてルート変更を余儀なくされました。

ルートは登山の安全を考慮して危険ヶ所が少ない「楞厳寺山(りょうごんじさん)・高天神山」へ登り、晴れる頃に「小笠山」へ登ることにしました。体力トレーニングとしては歩行距離が短くなりましたが、小雨程度で楞厳寺山まで縦走でき、小笠山では予定通り晴れて最高の富士山を眺められました。また厄除け観音の法多山では2024年の厄除けも祈願でき、「厄除け団子」もぎり

ぎり食べられました。今回の山行は降雨もありましたが、皆様のおかげで富士山も遠望でき、皆様は厄除け観音のご利益で今年一年安全安心の登山ができることをお祈りいたします。(注)楞厳寺山(りょうごんじさん)、高天神山、小笠山は今川義元亡き後、武田信玄・勝頼と徳川家康が覇権を争った最前線であり、城跡も点在しています。

#### 1月27日(土)☆☆☆

山域：鈴鹿山脈 山名：御在所岳(1,212m)

(往路) 金山 7:45 → 菰野 IC 8:20 → 御在所ロープウェイ P 8:30 (復路) 駐車場 16:15 → 入浴 6:30/17:20 → 菰野 IC 17:35 → 金山 18:20

#### コースと所要時間

ロープウェイ駐車場 9:15 ~ 裏道登山口 10:42 ~ 藤内小屋 10:54 ~ 国見峠 13:15 ~ 御在所岳山頂 14:36 ~ 山上駅 15:20 → 湯の山温泉駅 16:00  
歩行時間：4時間56分

参加者(4名)

CL：高松 信治 SL 会計：河合 泰代

記録：花田 玲子、五島 健一



#### (参加者の感想)

・期待通りの積雪で雪はたっぷり、無雪期とは全く違う別世界。裏道は先行者がステップを切ってくれたおかげでツボ足でも非常に歩きやすく、夏道よりも楽に感じた。藤内壁分岐辺りでアイゼンを装着。国見峠から稜線に出た際の強い風を危惧し、稜線手前で食事を済ませ、事前に防寒準備をしたが、風は穏やかだった。国見峠から閉鎖中のスキー場まではリーダーが先頭でラッセル、その後先頭を交代しながら三角点を目指した。踏み外すと腿辺りまで雪があり、一苦労したが、一面に広がる銀世界を樹氷を眺めながら歩くのはとても爽快で最高だった。事前に気象や装備についてメールで情報共有し、現地では雪山歩行の基本等優しく丁寧に指導していただき、皆との会話もとても楽しく大変勉強になった雪山の魅力満載の山行だった。(河合 泰代)

・初めての雪山山行、良い経験でした。一月以上前から知らせていただいた持ち物リストでイメージを現実的なものに近づける事が出来ました。大事な服装、手袋、他の備品についても細かく質問に答えていただき大変勉強になりました。山行は夏山ルートと違い、岩場でも新雪ふみがためたトレースを楽に利用できること、新雪でのラッセルは大変体力がいることなど、机上では学べない様々な経験をさせていただきました。

(花田 玲子)

・初めての雪山。登山始めにストックのバスケットを落とす。バスケットの重要性を痛感。アイゼン初使用。歩行の難しさを痛感。大変勉強になる山行でした。

(五島 健一)



#### <リーダーコメント>

今年は雪が少ないことを心配していましたが、山行前の木曜日にまとまった降雪がありました。今年も雪の多い御在所岳となり、駐車場を出るところから雪の上を歩きました。途中の丸太橋は立派なものに架け替えられており安心して通過できました。斜度がきつくなる藤内沢入口でアイゼンを着用。歩き方を説明しながら進みました。国見峠直前で帰ってくる登山者と話したところ、峠から先でラッセルに苦労しているとのこと。国見峠から一旦は今年の冬ルートの方に進んだのですが、踏み跡がわずかのため戻り、踏み跡に従い峠を西に進んだところから頂上を目指しました。一部で膝上ラッセルとなるところもあり疲労。以降ラッセルを交代しながら頂上を目指しました。お陰様で全員無事登頂でき有難かったです。時間と体力の状況から今年も下りはロープウェイ利用となりました。あり色々と至らない点がありましたが、参加者のご協力の下、楽しみにしていた雪山に上り、雪道の歩き方など知っていただく事ができました。

.....

1月27日(土)28日(日)☆☆山城：北アルプス

山名：乗鞍高原・上高地 (1,500m)

(往路) 日本特殊陶業市民会館 7:30→名古屋高速・中央道松本 IC12:20 → 乗鞍高原/仲之家・蕎麦屋 11:28 乗鞍観光センター15:30→ペンション 16:03 (復路) 釜トンネル出口 14:40→ペンション 14:58→松本 IC16:10 (中央道・名古屋高速) → 金山 19:12

#### コースと所要時間

1日目：休暇村乗鞍高原 13:15～牛留池 13:27～善五郎の滝 14:20～乗鞍観光センター15:30

所要時間：2時間15分

2日目：ペンション 8:22～釜トンネル 8:35～上高地トンネル 9:19～唐松橋 9:45 ワカノ、スノーシュー装着大正池 (右岸) 10:37～焼岳登山口 11:19～河童橋 12:11～バスターミナル 12:26/12:50 (スノーシュー・ワカン脱着・昼食) →上高地トンネル 14:00→釜トンネル出口 14:40

所要時間：5時間55分

参加者 (8名) 他に個人山行 8名の合同山行

CL金谷 正起 SL/会計：奥野 明美 会計：芝山 美智子 記録：浅井 由美子 杉浦 充代 佐藤 雅弘 佐藤 千景 山田 綾子

(参加者の感想)

・3年ぶりの上高地、乗鞍は昨年7月に訪れたが雪の時期は初めてだ。全体的に降雪量は少なくやはり温暖化を切実に感じる。スノーハイクは楽しく新雪に足跡を残すことができた。乗鞍ではミステリーサークルにも出会ったし、上高地は天候もまずまずで昨年雨で訪れることのどきなかつたメンバーさんはリベンジできてよかった。

(佐藤 千景)



・冬の乗鞍&上高地は初体験です。初スノーシューです。もう少し歩きにくいものかと思っていましたが思ったよりも雪を楽に歩けるものなんですね。夏であったなら歩けるはずのない凍った池の上、雪が覆い隠した笹藪の上をふかふかの新雪を踏

みながら歩き回りました。上高地トンネルを抜けた時に見られた白く光った穂高は素晴らしかったです。(杉浦 充代)

・今回、初めて支部友山行に参加しました。冬山でのスノーシューも初めてでしたが、お天気も良く、風もなく、雪も沢山あり、最高の条件で体験することができました。乗鞍岳や、西穂高、焼岳、大正池、梓川が、夏とは違う幻想的な景色で本当に感動しました。

(山田 綾子)

・一昨年前は5月末の頃、娘夫婦と大正池を基に散策した思い出が蘇りました。山岳会での山行では、いつも夫婦で行動しているせいかなかなか皆んなの名前が入って来ない。これからはばらばらで行動しようかとも思う。金谷さんが使っていたお手製の輪カンなんて是非作ってみたいひとつだ。今度は皆さんのこだわりの道具やお気に入りのアイテムを教えてくださいたいです。

(佐藤 雅弘)

<リーダーコメント>

冬はやはり白銀の雪山で遊ぶのが一番です。直前の寒気で積雪があり乗鞍高原も上高地も新雪に恵まれ最高の条件のスノーハイキングとなりました。スノーシューが始めての方も上手に操りました。長い登りの釜トンネル、上高地トンネルを抜けホットした瞬間真っ青な空に穂高の峰々が現れました。全員からわあ〜と歓声が上がって一斉に写真を撮り出した時いつも来て良かったと思います。今年が最後のつもりでしたが来年も計画することに。会話も楽しく笑顔が絶えなかった皆さんのお陰です。

2月3日(土)☆☆

山域：鈴鹿山脈 山名：嶽不動 (1780m)

(往路) 名古屋 7:55→ロープウェイ前 9:05

(復路) ロープウェイ前 16:44→名古屋 17:55

コースと所要時間

ロープウェイ前 9:25～藤内小屋 10:25 (アイゼン装着)～嶽不動 11:45～旧三嶽寺跡 12:25～  
兔の耳 12:55/13:25(昼食～藤内小屋 13:40/15:05～ロープウェイ前 16:15

歩行時間：約4時間30分

参加者 (3名)

CL：田中進 SL：川崎 禎明 記録：佐橋 章嘉  
(参加者の感想)

・雲ひとつない快晴の中、藤内小屋の上は雪もきっちりあり、コンディションは最高でした。12本アイゼンと新しい靴との相性が合うか心配でしたがSLからのアドバイスもありきっちりと装着でき、嶽不動手前の急登は、安心して登れました。ただ岩と雪のミックスや渡渉でのアイゼ

ンの歩行が難しく苦勞しました。鈴鹿の山は、雪もありこの1月末から2月上旬が一番楽しめるような気がしました。(佐橋 章嘉)



<リーダーコメント>

参加者の一人がコロナ感染、二人目も腰痛になり3名の山行となりました。雪不足でアイゼン歩行訓練ができるのか心配されたが、1月中旬以降に相当量の降雪が有り思った以上に残っていました。ほとんどの登山者は裏道から御在所山頂ルート、今回の岳不動コースはマイナーで登山者はゼロ、藤内小屋からアイゼンを装着しました。森林帯の中は踏み跡が無く、くるぶし迄の雪をラッセルし多少苦勞しました。途中急登の崖は新たにロープが張られ安全に通ることが出来るようになりました。不動尊の社からは目の前に不動滝が氷で覆われ、上を見れば青空に国見の天狗岩が見えました。帰路は三嶽寺跡に立ち寄り更に裏道に戻ると、兔の耳で昼食休憩しました。兔の耳前の谷が2008年の土石流で埋まり、又天狗の踊り場の慰霊碑もほとんど流されてしまいました。この場所からは藤内壁の岩場が迫り、東は四日市の街並みと伊勢湾と知多半島の眺望が見事でした。



藤内小屋内で神谷オーナーとゆっくりお話し休憩中に、四日市西警察署小古氏と捜索隊員が遭難



者を下に下ろす現場に遭遇しました。我々も遭難しないよう気を引き締めた今回の山行でした。



・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

**2月11日(日) ☆**

山城：岐阜北部 山名：**百々ヶ峰**  
(往路) 日本特殊陶業市民会館南側道路 7:02  
～松尾池駐車場 7:53  
(復路) 松尾池駐車場 11:30～日本特殊陶業市民会館南側道路 12:40

**コースと所要時間**

松尾池駐車場 8:03～岩場 8:40～百々ヶ峰山頂 9:14/9:26～権現山 10:02～白山展望地 10:20/10:36 ※コンパスの使い方練習～萩の滝 10:50～松尾池駐車場 11:08 所要時間 3時間 05分  
参加者(5名) CL **倉橋智司**  
会計：清水 ゆかり 体操：五島 健一  
記録・写真：稲葉 華子 報告：塚原 恵美子



**(参加者の感想)**

・岐阜市内で1番高い山。工事中で水がない松尾池から直ぐに登山道が始まり 150m～250mの間の岩場では倉橋リーダーから3点支持の声かけがあり少し緊張しましたがとても楽しい岩場歩きでした。所々、展望が開けていて北側は御嶽山、南アルプス、南側は岐阜城を見る事ができ、低山とは思えない眺望の良さと山々に囲

まれた場所でした。山頂では多くの人が眺望を楽しんでいて人気の山みたいです。白山展望地ではコンパスの使い方の練習をして1年前と比べると少しは上達したかな(笑)ここから駐車場までの東海自然歩道は沢沿いを進み萩の滝透き通った沢の水を見ながら下りました。お天気も良く快適な山行でした。

(清水 ゆかり)

・百々ヶ峰は3回目でしたが今回のコースは初めてで、岩場や、滝もあり楽しいコースでした。

(稲葉 華子)

・百々ヶ峰が、岐阜市で最高峰の山といわれるまでに、紆余曲折な歴史があったことを今回の山行準備で知り、地元の方々にとっては、思い入れの深い山である事と思いました。標高約70mの松尾池駐車場から百々ヶ峰山頂までの標高差およそ350mを登りながら、金華山、長良川等の眺望を楽しみ、突如、現れた岩場を慎重に登り、約70分で山頂に到着しました。山頂での眺望はすばらしく、下山途中には、萩の滝を眺めと短時間で山を楽しめる山行でした。

(塚原 恵美子)



**<リーダーコメント>**

登山口からは、それ程急ではないが山頂迄、連続した登りが続き短いながら岩場もあり、参加者には三点支持を意識して登ってもらった。衣服調整も南側尾根の登りは薄着で問題ないが、頂上から権現山～萩の滝は樹林帯が多く、体感温も下がる為、こまめな衣服が大切に感じた。岐阜市内から近郊であるが、アクセスが悪い事もあり金華山に比べ地味な印象の山の為か、好天にも関わらず、頂上以外で登山者に殆ど合う事が無かったが、のんびりと景色を楽しみながらの山行だった。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

**2月17日(土) ☆☆**

山城：滋賀県野洲 山名：**三上山(432m)**

## ルートと所要時間

J R 金山駅 6:55→J R 野洲駅 8:43→バス野洲駅  
9:00～御上神社前 9:06～表参道登山口 9:22～三  
上山 10:10/10:55 ランチタイム～妙光寺山分岐  
12:28～林道(峠)12:44～田中山山頂 13:13/13:31  
～下山口 13:56～野洲駅 14:20～J R 野洲駅 14:  
28→米原→大垣→J R 金山駅 16:19

所要時間：4時間34分

参加者 (7名)

CL:磯部 隆 SL 大島 巖 SL 高橋 弘美

会計:塚原 恵美子 島田 逸子

写真:五島 健一 記録:中野 徳子

(参加者の感想)

・新幹線や高速道路から見える綺麗な山、それが三上山の印象でずっと気になっていたお山でした。当日名古屋は小雨が時折パラつくお天気でしたが、野洲駅はひんやりとしてちょっと寒いくらい。表参道を登りましたが思っていたより急登でした。毎日登山されている方も多いようで尊敬します。展望台からは琵琶湖や比叡山が見え皆さん笑顔！山頂で早いランチタイムを終え、田中山に向けて北縦走路を歩きました。なんとなく継鹿尾山を彷彿とさせる雰囲気の良い登山道で、このあたりから晴れて暑くなり、すれ違う人の半袖シャツ姿にも納得でした。田中山は展望の良い広い山頂でいつまでも琵琶湖周辺を眺めていたい場所でした。(中野 徳子)



・三上山は近江富士の別名のとおり2等辺三角形のきれいな形の山。急登の末のピーク、急下降の末の北尾根縦走路、アップダウンを繰り返し縦走路を進み田中山はまだかなと進む中で琵琶湖、比叡山、三上山などを臨むことができました。登山道ははっきりしていましたが分岐が多く注意が必要でした。参加者のみなさんと和気藹々と山行ができとても楽しい時間を過ごすことができました。(高橋 弘美)

・登山口標高約100Mから三上山(432M)までの約330Mを約50分で、登りました。下山時に三上

山を眺めると、円錐形のなだらかな稜線で、「素敵な山容」に心ときめきました。近江富士と言われる事にも納得しました。山頂に御上神社奥宮があり、登山されている方々が、登山道などについて快く話をしてくださりと地元の方々にも親しまれている山である事が、よくわかりました。楽しい山行でした。(塚原 恵美子)



<リーダーコメント>

新幹線で米原を過ぎてしばらくすると、車窓からポコリと形が富士山に似た山が目に入る。それがこの山、三上山、別名近江富士、である。表登山道は、最初から急峻で、上部は岩場が多く、緊張感もあり、見た目よりは、登りがいのある山であった。しかも、頂上からの北尾根への縦走路に至る下りのルートも、枝道が多く、分かりにくい。ただ、頂上からの眺めは、曇りがちながら、琵琶湖、比叡山など、楽しめた。この山は、山と北尾根とセットで登るのがお勧めだ。北尾根からの三上山の姿が、より魅力的だから。

2月18日(日)☆☆山城:恵那

山名:富士見台

(往路) 豊田市駅 7:00→豊田三好 IC7:20→神坂 P8:10/8:20→園原 IC8:27→神坂神社登山口駐車場 8:35

(復路) 登山口駐車場 15:20→園原 IC→恵那 SA16:05/16:20→豊田勘八 IC17:00→豊田市駅 17:20

ルートと所要時間

神坂神社登山口 8:45～ブナコース分岐 10:10～萬岳荘 11:20～神坂小屋 11:40～富士見台高原山頂 12:05～神坂小屋(昼食)12:45～萬岳荘 13:20～ブナコース分岐 14:00～神坂神社登山口 15:05

参加者 (4名)

CL:久野 輝美 会計:芝山 美智子

伊藤 めぐみ 神戸 志摩

(参加者の感想)

スノーシューが出来るということで、山行申し込みをして、楽しみにしていましたが、出発間近になるとリーダーから雪情報を何度もいただき、最

最終的には、別の登山口からスノーシューやアイゼンを使わずに雪山を歩く練習に変更となりました。私は、凍った登山道で転倒骨折経験があるので下山はチェーンスパイスを使いました。リーダーから雪山歩きで注意するポイントやストックの使い方などたくさんを学び、有意義な雪山山行となりました。ご一緒してくださったみなさまありがとうございました (芝山 美智子)



当初はスノーシューかワカンで雪山歩きの予定でしたが、暖冬の為、びっくりするくらい雪がなく、ほとんど夏道歩きとなってしまいました。所々ある雪上で雪道の基本的な歩き方を教えていただき、それに沿ってアイゼンもチェーンスパイクもなしで練習しながら歩きました。靴の足裏の刻印をつけながら小俣で歩くイメージです。時々雨も降ってきましたがこれくらいなら許容範囲で無事山行を終える事ができました。今回は残念でしたが、次回また雪の時期にリベンジしたいです。(伊藤 めぐみ)

・スノーシュー山行の予定が、温暖化の影響で雪がほとんどなく、またヘブンス園原のロープウェイ故障により、ルートを変えてのツボ足山行となりました。残雪がある場面では、リーダーよりルートの取り方、足の置き方などを教えていただきました。雪道に慣れていない私にとっては、とても参考になるアドバイスばかりでした。普段ほとんど使わないトレッキングポールの使い方もご指導いただき、またポールのストラップについては手首に通す/通さないについて考える(実践する)いい機会となりました。技術あるリーダーの経験談も興味深く、足並み揃った参加メンバーとも登山アイテムなどの情報交換もでき、有意義な山行でした。(神戸 志摩)

<リーダーコメント>

当初、スノーシューやワカンを使ってスキー場からのスノーハイクの予定が、ゴンドラ故障のためスキー場閉鎖と雪が極端に少ない状況なので神坂神社から富士見台ピストンに計画変更とした。樹林帯の中はところどころ雪道となっており靴に滑り止めをつけないで歩く基本動作の良い

練習ができた。ポールもいろんな状況下で対応しながら使うことが経験できたと思う。にわか雨のなか眺望も望めず地味な山行だったが事故もなく頂上往復ができたことはよかった。次回は眺望と雪を求めて行きたいものだ。



2月25日(日) ☆☆

山域：鈴鹿山脈 山名：藤原岳(1,144m)  
(往路)金山駅の名古屋市民会館 7:00～東別院 IC  
～大安 IC～大貝戸駐車場 8:30  
(帰路)大貝戸駐車場 17:00～温泉 17:20/18:00～  
金山駅の名古屋市民会館 19:30

コースと所要時間

藤原岳大貝戸登山口 8:30～8 合目 11:20～藤原山荘 12:00/12:40～藤原岳展望台 13:00～藤原山荘 13:30～八合目 14:10～大貝戸登山口 16:10  
歩行時間 6時間 10分

参加者(8名)

CL：近藤 政仁 SL：内藤 晴義  
記録：花田 玲子 花田 彰紀 大場 奈緒



(参加者の感想)

・初の冬山山行だったので、アイゼンやウェアなどの装備に関して何を、どこまで用意したら良いか最後まで決心がつかず、半ば開き直りの心境で参加しました。当日は結果オーライで、雨雪の中で歩いていても事前に心配した程寒くはなく、まあまあ快適に歩くことができました。ただ、冬山だと道標などはあてにならないので、他の季節以上に地図読みの技量の必要を感じました。それ以外にも、装備として何をどれだけ持っていくかの取捨選択や、一緒に歩く人とのコミュニケ

ーションなど、歩いたり、景色を楽しむだけではない山行の面白さには色々な要素があると改めて感じました。(花田 彰紀)



・あいにくの天気でしたが、八合目からアイゼン(チェンスパイク)の装着と、雪道ルートの経験ができて良かったです。チェンスパイクでは、湿った新雪の上では、足の裏で時々団子になってしまい、バランスを崩さないように歩くを経験出来ました。それ以外は歩きやすかったです。装着も手袋取らずに練習しましたがまだうまくいかず、手袋がスパイクのゴムに挟まって取れてしまったり、アウター手袋のイメージも考えることが出来ました。以前学んだように昨日の状況は軽アイゼンがベターと感じました。道中のお話も楽しく、小屋から先は迷いましたが、展望台まで行けて雪歩き楽しかったです。途中、登りの7合目で鹿の鳴き声と群れで走り抜けるのを見られて自然を感じました。八合目から下の下山が長く感じました。歩き始めの体操と首回しで体調がわかるのとこと、スマホのGPSがおかしいと感じた時逆八の字に回すなど、リーダーならではの経験も教えていただき、今後に活かしたいと思いました。

(花田 玲子)

・雪の藤原岳、申込時から楽しみにしていました。暖冬により、雪が積もっていることを祈りながら当日を待ちました。雨に打たれながらもリーダーの楽しいお話しで和気藹々と登り続けていると、8合目付近から少しずつ地面に雪が現れました。降る雨も雪にかわり、9合目を超えたところで、すっかり雪山となりました。チェンスパイクと10本爪アイゼン、両方背負っていきましたが、所々木の根や石がみえていたところもあり、チェンスパイクで歩くことにしました。8合目～頂上の登り下りで着用しましたが、良い選択だったと思います。滑ることなく歩けました。山荘から頂上へは眺望がのぞめないことから、半ば諦め気味でしたが、メンバーの一声で頑張っ

て濡らすことなく歩くことにとっても気を使いました。装備の重要性を再確認できた山行となりました。(大場 奈緒)

・当日は名古屋は朝から雨であったが、藤原岳は雪であればと願いつつ出発した。駐車場は雨で雪は見当たらない。ここでアイゼンも持っていたが軽アイゼンを持って登ることとした。八合目辺りから雨から雪へと天候が変化し、ここでリーダーの指示のもと軽アイゼンを装着し避難小屋に向けて直登した。小屋に到着する頃にはスッカリ雪山と変貌していたが年々と雪も少なくなっていると感じた。以前に登った時は山頂から少し下った辺りから小屋に向けて100円ショップで買った尻ゾリで滑った記憶が蘇ってきた。今回の山行は、天候には恵まれなかったけど雨降りでの雪山では色々気付かされる事が多く再確認でき、とても良い雪山山行となりました。

(内藤 晴義)



<リーダーコメント>

今回は標高差1000m以上、花の百名山の藤原岳で雪山入門を計画し、参加者には手袋をしたままでのアイゼン装着やアイゼン歩行を練習してくれる様お願いしました。但し、2024年は雨が続き天候不順も予想されたが、雪は8合目まで練り上がっていました。藤原山荘から藤原岳展望台までは積雪が十分あり、雪山歩行を楽しんでいただけただけかな。今回は風も弱く、遠望が利きませんでした。雪山入門としては歩行しやすかった。しかし、山は風が強くなると、体がふられたり、体感温度が下がって低体温症を発症することもあります。暴風や防寒の対策を忘れないように願います。(例えば、藤原岳の体感温度-15℃=温度5℃-風速20mを想定する。)

次の雪山は「伊吹山(現在入山禁止中)」や「大日岳」などの低山から挑戦して高い山へレベルアップ願います。また、藤原岳は花の百名山、福寿草の見頃(3月下旬~4月上旬)などに登ると違った楽しみも体験できます。他の登山シーンを楽しむように願います。

.....

令和6年7月～9月の山行計画です！  
 <FAX かメール・携帯はSMSで山行リーダー  
 にお申込み下さい。>！

<夏山>申し込み 夏山の誘い  
 4月9日(火)出席者は先行申し込み受付

・募集開始は山行日の3ヶ月前(午前6時)から、  
 山行申し込みは月に2山行までとします。

・山行日・山名・会員番号・氏名・住所・電話  
 (携帯電話)・生年月日・血液型・加入保険名  
 ・緊急連絡先(その関係)

☆山行グレード

- ☆ 1日の累計標高差(登り) 600m以内、  
 歩行時間4時間程度の山
- ☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m以内、  
 歩行時間6時間程度の山
- ☆☆☆ 1日の累計標高差(登り) 1,200m超過、  
 歩行時間6時間超過の山

リーダー連絡先

尾上 昇	onoe@onoe.co.jp	090-1741-4926
金谷 正起	kanaya.masaki@rouge.plala.or.jp	090-9931-3600
榊 将美	m.sakaki@minds-consulting.jp	090-7237-4410
松本 陽子	yo-kom@nifty.com	090-7859-4031
田中 進	t.susumu@peace.ocn.ne.jp	090-9191-8666
磯部 隆	takass@yk.commufa.jp	090-9180-7245
高松 信治	takama2nobu3@yk.commufa.jp	090-3156-5268
今津 英一朗	imazu.eitirou@maroon.plala.or.jp	090-2616-7549
村瀬 恭平	hoshizakari@docomo.ne.jp	090-4186-9876
近藤 政仁	vft55ud55@gmail.com	090-2183-8125
倉橋 智司	ilyt6by8@qc.commufa.jp	090-8673-7180
奥野 明美	tac-okuno@mbi.nifty.com	090-9923-4292
池戸 美恵	noboruonna@icloud.com	090-1294-0415
川崎 禎明	y.kawa715@gmail.com	090-2131-7695
久野 輝美	kuno4895@hotmail.com	090-7575-4521
林 康太郎	koutaropippi@gmail.com	090-2949-0544

<夏山>7月6日(土) 7日(日) ☆☆☆

山域：中央アルプス 山名：宝剣岳(2,931m)・  
 三ノ沢岳(2,728m)

1日目：千畳敷～遊歩道散策、または浄土乗越  
 ピストン～ホテル千畳敷(泊)

2日目：ホテル千畳敷～宝剣岳～三ノ沢岳～極  
 楽平～千畳敷

歩行時間：1日目2時間 2日目7時間40分

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前7:00 交通：自家用車・バス・ロープ  
 ウエイ

参加費：30,000円(実費精算)

募集：4名

リーダー：池戸 美恵 雨天中止、又は計画変更

ポイント：日本一空に近いホテル千畳敷でちよっ  
 と贅沢な山小屋 life を楽しむ。千畳敷カールの  
 風景や高山植物を楽しむ。岩の殿堂宝剣岳と花  
 の名山、三ノ沢岳に登る

7月12日(金) ☆ 募集開始4月12日

山域：北八ヶ岳 山名：蓼科山(2,531m)

蓼科山七合目登山口～蓼科山荘～蓼科山～蓼  
 科山頂ヒュッテ～往復

歩行時間：3時間35分

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6:30 交通手段：マイカー

参加費：約6,000円(実費精算)

募集：3名

リーダー：村瀬 恭平

ポイント：蓼科山は、八ヶ岳連峰の北端に位置する  
 火山。コニーデと呼ばれる台地状の火山に、円錐  
 型のトロイデを重ねた複式火山。諏訪から仰ぐと  
 優美な円錐型に見えることから、諏訪富士の別名  
 も持つ。

<夏山>7月20日(土) 21日(日) ☆

山域：木曾恵那 山名：富士見台高原(1,739  
 m) 横川山(1,619m)

1日目：神坂峠駐車場～山小屋萬岳荘泊り

2日目：小屋～富士見台高原～横川山～萬岳荘

歩行時間：1日目1時間 2日目4時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前8:00 交通：マイカー3台

参加費：約12,000円

募集：10名

リーダー：田中 進 雨天：決行

ポイント：山小屋泊、自炊 BBQパーティー夜は満  
 点の星観察、翌日は頂上から百名山23座を望む  
 トレッキング。

<夏山>8月2日(金)3日(土)☆☆☆

山城：南アルプス 山名：薬師岳(2,780m) 観音岳(2,840m) 地藏岳(2,764m)

1日目：夜叉神峠登山口～南御室小屋(泊)  
2日目：南御室小屋～薬師岳～観音岳～地藏岳～青木鉱泉

歩行時間：1日目5時間強 2日目9時間半

集合：JR名古屋駅プラットフォーム

時間：午前6:45

参加費：約40,000円

募集：5名

リーダー：磯部 隆 雨天：中止

ポイント：二日目の縦走路からは、北岳などの白峰三山の眺望が素晴らしい。1泊2日では、かなりタイトであり、景色を少し楽しみつつも、ひたすら歩くことに専念する山行となる。

<夏山>8月23日(金)～25日(日)☆☆☆

山城：南アルプス 山名：仙丈ヶ岳(3,033m)

2日目：長衛小屋テント場～北沢峠～五合目(大滝ノ頭)～小仙丈ヶ岳～仙丈ヶ岳～仙丈小屋～馬の背ヒュッテ～藪沢小屋～大滝ノ頭～北沢峠～長衛小屋テント場(泊)

2日目の歩行時間10時間

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前7:00 交通：マイカーor レンタカー

参加費：実費精算

募集：3名

事前ミーティング有

リーダー：高松 信治 雨天：悪天の場合中止

ポイント：日本百名山「南アルプスの女王」仙丈ヶ岳にテント泊で登ります。1日目は南アルプス林道バスで北沢峠に入りテント場へ。2日目は仙丈ヶ岳往復。この日もテント泊。3日目にゆっくり名古屋に帰ります。寝袋が必要です。

<夏山>8月30日(金)～9月1日(日)☆☆

山城：山梨 山名：七面山(1,989m)・

身延山(1,153m)

1日目：七面山表登山口～表参道経由～敬慎院  
2日目：敬慎院～七面山・希望峰ピストン～裏参道経由～七面山裏登山口

3日目：久遠寺→ロープウェイ→身延山～久遠寺

集合：金山日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6:30 参加費：約40,000円

交通：マイクロバス

募集：8名

リーダー：林康太郎 雨天：決行

ポイント：敬慎院での宿坊・修行体験、日本二百名山、希望峰からの南アルプス白峰南嶺の景色、宿坊体験 翌日の温泉宿での舌鼓、日蓮宗総本山久遠寺

<夏山>9月8日(日)9日(月)☆☆

山城：奥秩父 山名：瑞牆山(2,230m)・金峰山(2,599m)

1日目：富士見林道P～富士見平小屋～金峰山～金峰山小屋

2日目：金峰山小屋～桃太郎岩～瑞牆山～富士見林道P

歩行時間：1日目5時間 2日目8時間

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前6:30 交通：マイカー

募集：3名

参加費：約25,000円

リーダー：近藤 政仁 雨天：中止

ポイント：富士山遠望の山を縦走

9月8日(日)☆ 募集開始6月8日

山城：比良山地 山名：武奈ヶ岳(1,214m)

ルート：御殿山コース、帰りはコヤマノ岳經由

歩行時間：5時間20分

集合：日本特殊陶業市民会館南側道路

時間：午前7:00 交通：マイカー

募集：3名

参加費：5,000円 雨天：中止

リーダー：今津 英一朗

ポイント：敦賀三山の一つ比良山系最高峰から琵琶湖を遠望

9月28日(土)☆ 募集開始：6月28日

山城：三河高原 山名：物見山

ルート 海上の森～五叉路～物見山～赤猿峠～日本山岳会土地～海上の森

歩行時間：5時間

集合：名古屋市営地下鉄『東山公園』3番出口

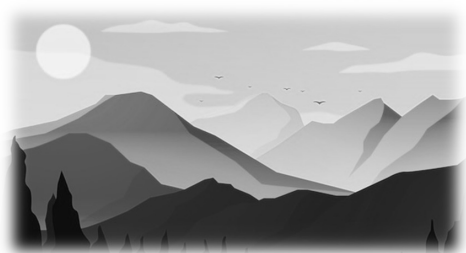
時間：午前7:30

参加費：2,000円 募集人員：8名

リーダー：金谷 正起 雨天中止

ポイント：山を楽しむための地図読みの基礎を猿投山山麓の道無き道を歩きながら学びます。

2024年に入会した支部友員対象です。日本山岳会の活動についても説明します。



2024年10月～2025年3月 下期支部友山行スケジュール

東海支部 支部友会

月度	日	曜	募集開始	締切	募集人数	グレード	山域	山名	リーダー	備考・目的
10月	12	土	7/12	9/12	3名	☆	南アルプス南部	高塚山	林	三百名山
	14	月・祝	7/14	9/14	5名	☆☆	鈴鹿南部	錫杖ヶ岳	磯部	鈴鹿南部の秀峰
	19	土	7/19	9/19	8名	☆	瀬戸地区	物見山	金谷	新入会員歓迎・読図山行
	20	日	7/20	9/20	3名	☆	越美山脈	野坂岳	今津	
	23	水	7/23	9/23	5名	☆	沼津アルプス	香貫山～徳倉山	川崎	海沿いの山をのんびり歩く
	26・27	土・日	朝明ミーティング 支部友会のメインイベント 朝明茶屋泊り							
11月	2	土	8/2	10/2	6名	☆	奈良葛城山系	金剛山	田中	日本二百名山
	10	日	8/10	10/10	3名	☆☆	伊那谷	大川入山	高松	アルプス絶景 中央アルプス最南端の山
	16	土	8/16	10/16	3名	☆	京都トレール 鞍馬	鞍馬寺～貴船山	村瀬	京都トレール⑥
	16	土	8/16	10/16	5名	☆	湖西アルプス	座談山～神石山	今津	公共交通機関
	17	日	8/17	10/17	3名	☆☆	奥三河	岩古谷山	近藤	梯子・ロープ
	23	土	8/23	10/23	3名	☆☆	西濃	西台山～タンポ	林	ルーファイ
	30	土	8/30	10/30	3名	☆	鈴鹿南部	宮指路山	榊	山頂は奇岩が並び、 荒々しい岩稜が望める。
12月	7	土	9/7	11/7	5名	☆	恵那	笠置山	磯部	中央線を挟んで、恵那山と対峙する
	8	日	9/8	11/8	3名	☆	新城市	五葉山	近藤	富士山遠望
	15	日	9/15	11/15	3名	☆☆	鈴鹿山脈	藤原岳	高松	初雪の藤原岳
	15	日	9/15	11/15	3名	☆☆	鈴鹿山脈	竜ヶ岳	今津	場合によりアイゼン要
	21	土	9/21	11/21	5名	☆	京都	大文字山	磯部	京都市街の展望良し
1月	12	日	10/12	12/12	20名	☆	愛岐丘陵	鳩吹山	尾上	初登山・初詣・新年会
	13	月・祝	10/13	12/13	4名	☆	焼津アルプス	満観峰	今津	初富士トレイル
	19	日	10/19	12/19	3名	☆	掛川市	小笠山・法多山	近藤	富士山遠望・厄落とし
	25	土	10/25	12/25	5名	☆☆	奥三河	鞍掛山	倉橋	千枚田を見ながら(要・軽アイゼン)
	26	日	10/26	12/26	3名	☆☆☆	鈴鹿山脈	御在所岳(裏道)	高松	雪の裏道往復
2月	1・2	土日	11/1	1/1	9名	☆☆	北アルプス	乗鞍高原&上高地	金谷	スノーハイキング
	1	土	11/1	1/1	5名	☆	鈴鹿山脈	嶽不動	田中	初級アイゼン歩行
	8	土	11/8	1/8	3名	☆☆	北陸	医王山	林	三百名山ワカンアイゼン
	9	日	11/9	1/9	4名	☆	鈴鹿山脈	入道ヶ岳	今津	初級アイゼン歩行
	15	土	11/15	1/15	3名	☆☆	中央アルプス	富士見台	久野	スノーハイキング
	16	日	11/16	1/16	5名	☆	豊橋市	神石山	近藤	富士山遠望
3月	8	土	12/8	2/8	3名	☆	新城/鳳来	棚山～宇連山	榊	読図と枝垂梅・三叉の鑑賞を楽しむ
	19	水	12/19	2/19	5名	☆	度合山地	姫越山	川崎	海沿いの山をのんびり歩く
	22	土	12/22	2/22	5名	☆☆	中津川	蛇埵山	倉橋	千支(巳年)の山歩き(要・軽アイゼン)
	29	土	12/29	2/28	8名	☆	本巣市	岩岳	池戸	岩岳登山と薄墨桜鑑賞
	30	日	12/30	2/28	3名	☆	鈴鹿山脈	藤原岳	近藤	花の百名山

## 支部友ミーティング開催のお知らせ

「報告」第62回 2月13日(火)

19:00~20:30 東海支部ルーム

テーマ:「鈴鹿の最新山岳遭難の現状」

講師:小古 真也氏 (日本山岳会東海支部  
遭難対策委員会・トレッキングクラブ 所属)

参加者(23名 内支部友会員13名)

最近の事例紹介①御在所山本谷登山道における滑落死亡40代男性、②御在所山一の谷登山道における単独遭難者死亡30代男性、③御在所山裏道登山道における単独道迷い70代男性、④釈迦ヶ岳におけるグループ登山の道迷い。何れも登山届未提出の案件を説明。令和4年度の鈴鹿山脈三重県側山岳遭難事故発生件数は単独24件、そのうち18件登山届未提出、複数20件そのうち13件登山届未提出と70%と多い現状を説明し、最後に小古氏より単独登山の危険性と登山届の重要性についてのお話に参加者は皆納得されました。

「予定」第63回 4月9日(火)

テーマ:「2024夏山への誘い」

講師:山行リーダーが夏山コースを説明し参加者は先行申し込み受付ます。

会場:東海支部ルーム 尚、資料は事前にPDFでメールしますのでプリントアウトしてください。

「予定」第64回 6月11日(火)

会場:東海支部ルーム 19:00~20:30

テーマ:「富士登頂2230回・前人未到の偉業」

講師:實川欣伸氏 (日本山岳会静岡支部員)

實川氏は42歳で富士山初登頂以来38年、2023年9月10日は富士山の年で世界文化遺産10周年のそれも閉山日の山小屋最終日に登頂出来た事が一番の感激と語られました。75歳からは奥様の美樹さんが食事や健康面の支えとなり、師匠と仰ぐ仲間たちの応援で遂に80歳で偉業を達成されました。



### \*支部友会員数\*

令和6年2月末

入会者 52077 石田 有希子

現在 67名

### \*編集後記\*

1972年札幌冬期オリンピックでジャンプ競技の金銀銅やフィギヤスケート競技のジャネットリンが転んで銅メダルなどを覚えている人は私だけでしょうか。あれから52年経ち、今年1月アルペン競技会場のテイネスキー場で滑ってきました。聖火台の立つ場所から札幌の街が一望出来大通公園のテレビ塔もかすかに見えました。今年は札幌が2月に10度以上の気温になり明治以来の暖冬となりました。昨年に2度目の冬季オリンピックの誘致を諸事情で中止した事は良かったのか、開催しても雪不足で出来ないのではと思いました。

### 支部友会事務所連絡先

〒460-0014 名古屋市中区富士見町8-8 OMCビル B-1 東海支部内

URL <http://jactokai.sakura.ne.jp/shibuhp/index.php>

電話:052-332-8363 FAX052-322-7924

編集責任者 田中進 (090-9191-8666)